

うつ病と2型糖尿病を 合併している在宅患者へ シックデイカードを 用いた症例報告

○山村 春香

株式会社クリエイトエス・ディー
クリエイト薬局 日吉本町店





日本くすりと糖尿病学会 COI 開示

筆頭演者名：山村 春香
(株式会社クリエイトエス・ディー クリエイト薬局日吉本町店)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

はじめに

うつ病と糖尿病の関係

糖尿病の**予後の悪化**

生活の質の低下

死亡率を高める可能性有

※[SV Bădescu](#)(2016)“The association between Diabetes mellitus and Depression” , J Med Life. 2016 Apr-Jun; 9(2): 120-125.

シックデイ

糖尿病患者が治療中の
発熱、下痢、嘔吐、食欲不振



食事ができないときのこと



著しい**高血糖**
ケトアシドーシスに陥る

※日本糖尿病学会(2018-2019)“糖尿病治療ガイド”, 2018 5/12:79.

今回、**シックデイカード**を用いて**うつ病と糖尿病**を
合併している**在宅患者**へ介入した症例について報告する

患者背景

基本情報

70代女性
 BMI 23.5
 要介護Ⅱ
 配偶者と同居
 KP長女

現病歴

2型糖尿病
 うつ病
 高脂血症
 緑内障

既往歴

大腿骨骨折
 (X年3月)

血液検査

HbA1c **9.3%**
 (X年9月)



患者

ほぼ毎日
 誰か来てくれるから
 安心♪

在宅訪問スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
在宅診療所 往診	看護師 理学療法士	薬剤師	看護師 ヘルパー	看護師 理学療法士	歯科医往診	ヘルパー
月4回	毎週	毎週	毎週	毎週	月1回	毎週

内服薬

介入時X年9月

X+1年10月

X+2年7月

在宅診療所

エクメット配合錠LD
グリメピリド1mg
ロソーゼット配合錠LD
パルモディア0.1mg
酸化マグネシウム330mg
ミルナシプラン12.5mg
フルニトラゼパム1mg
アルプラゾラム0.4mg
スルピリド50mg

↑
うつ病治療は専門病院へ

在宅診療所

エクメット配合錠HD
グリメピリド1mg
ピオグリタゾン30mg
ロスバスタチン2.5mg
アミティーザ12μg
ビソプロロール2.5mg
アレンドロン酸35mg

1包化により内服アドヒアランス良好

動悸に関して心電図等異常なく、
心因的理由の為、偽薬で対応中

大学病院精神科

ミルナシプラン12.5mg
アルプラゾラム0.4mg
ブロチゾラム0.25mg
スルピリド50mg
トリンテリックス10mg
柴胡加竜骨牡蛎湯
ビオスリー配合錠(偽薬)
動悸時

問題点

① シックデイについて知識不足



患者

シックデイ？知らない
風邪ひかないから大丈夫

勉強する機会なく
よくわからない



スタッフ

シックデイカードを用いて
患者・介入スタッフへ指導が必要
(後述する介入①を実施)

② 血糖マネジメント不良



患者

糖尿病治療より
うつ病による動悸が気になる

部屋にお菓子などが
散乱していて間食多そう



スタッフ

糖尿病治療意欲向上の手助け
薬物・栄養療法が必要
(後述する介入② 1 - 3 を実施)

患者の特徴・健康状態 ^{注1)}	カテゴリーⅠ		カテゴリーⅡ		カテゴリーⅢ	
	①認知機能正常 かつ ②ADL 自立		①軽度認知障害～軽度 認知症 または ②手段的 ADL 低下, 基本的 ADL 自立		①中等度以上の認知症 または ②基本的 ADL 低下 または ③多くの併存疾患や 機能障害	
重症低血糖 が危惧され る薬剤(イン スリン製剤, SU薬, グリ ニド薬など) の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満	7.0%未満	7.0%未満	8.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限 6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限 7.0%)	8.0%未満 (下限 7.0%)	8.5%未満 (下限 7.5%)	8.5%未満 (下限 7.5%)

左図：高齢者糖尿病の血糖コントロール目標 (HbA1c値)

HbA1c目標値
7.5%未満



介入①シックデイについて知識不足

シックデイカードを用いて情報共有

実際使用したシックデイカード

シックデイ時の食事量による糖尿病薬の調節

種類	くすりの名前	1日量	いつも通り~8割ほど摂取できるとき	普段の半分くらい摂取できるとき	ほとんど摂取できないとき
糖尿病の薬	イクソットHD	2錠	(NVR) (LLO)		
	グリセピド(1)	1錠	(NP 715) (1)		
	ピロリダゾール(30)	1錠	(EP 402) (30)		
血圧の薬					

1包化の為、薬剤の刻印を大きく記載

ほかに「食事不可」が数日続く場合は、医師に連絡してください。
それ以外は基本継続してお飲み下さい。

説明者 山村春香 記載日 5年5月22日 診察時に主治医に確認しておきましょう

発行：一般社団法人日本くすりと糖尿病学会

医師へ

糖尿病治療薬調節について電話で確認

患者へ

シックデイカードを一緒に読み内容を把握

介入するスタッフへ

スタッフ用伝達ノートに記載

ケアマネジャーへ

報告書で報告

※サービス担当者会議が開催されれば直接説明予定であった

介入①シックデイについて知識不足

シックデイカードを用いた結果



患者

自己判断で
薬止めたらだめって
よくわかりました



薬剤師

外来患者への指導と比較し
居宅で患者が理解できるよう
ゆっくり説明ができました



スタッフ

シックデイ時の対応について
共通認識を持つことが
できました

介入① まとめ

- ・在宅医療において、外来患者への指導と比較し患者本人だけでなく介入するスタッフにもシックデイについて理解してもらいやすい環境であるといえる
- ・シックデイカードはシックデイ時の対応について患者も介入するスタッフも確認が容易に可能
- ・多職種スタッフと情報共有を行うことで**連携強化に繋がる手段のひとつ**といえる

介入②血糖マネジメント不良

糖尿病治療薬と血糖値

介入②-1 ②-2 ②-3



X年9月 X+1年1月 5月 9月 X+2年1月 5月 7月

グリメピリド1mg

グリメピリド0.5mg

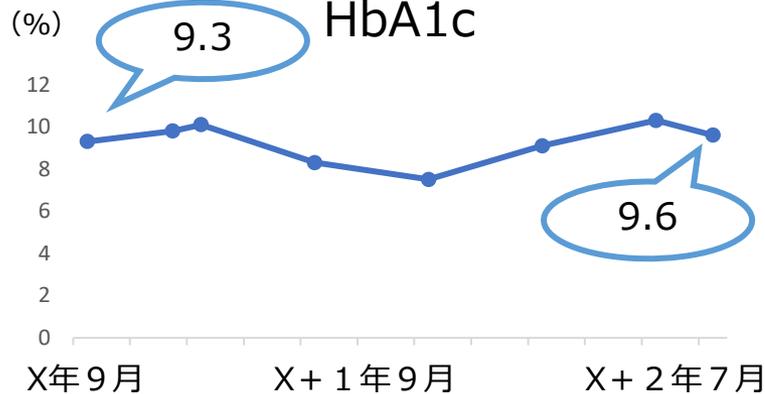
1mg

エクメットLD

エクメットHD

ピオグリタゾン15mg

30mg



【介入②-1】動悸の改善についてアプローチ

〈動悸に対する治療薬の検討〉

- ①桂枝加竜骨牡蛎湯
- ②柴胡加竜骨牡蛎湯

山崎武俊（2016）“動悸／不整脈に対する漢方治療の有効性”，心臓Vol.48 No5，504-510.

提案



X+2年5月～
柴胡加竜骨牡蛎湯
開始

【介入②-1】結果・まとめ



患者

動悸に効く漢方を飲み始めてからフラッシュバックの頻度が減ったし、動悸の1回の長さが短くなった気がするからよかったです

- ・動悸は改善傾向
- ・動悸の心配が軽減されることで、糖尿病治療やシックデイについての介入が可能になると考えられる

介入②血糖マネジメント不良

【介入②-2】栄養指導：「糖質早わかり表」を使用



- KPの娘やヘルパーに配布
- シックデイ時の糖尿病治療薬の調節についても同時に情報共有

【介入②-2】結果・まとめ



患者

お菓子好きだけど前よりは控えようと思います

- 栄養指導後の血糖値は大幅な変化なし
- シックデイ時の対応について栄養面からもアプローチ可能
- 栄養面の意識づけに効果あり

糖尿病ネットワークの資料を元に弊社の管理栄養士と協力し、作成

【介入②-3】薬物療法：低血糖リスクの低い薬剤の提案



薬剤師

現在アレンドロン酸は問題なく起床時に服用できています
アレンドロン酸を注射へ変更し、リベルサス®はいかがでしょう
またはトルリシティ®やオゼンピック®はいかがでしょう

今回は薬の種類を増やさずに
まずはSU薬増量し様子を見ます
改善しなければ再度検討します



医師

【介入②-3】結果・まとめ

- ・内服薬は増やさず、現在の薬剤の増量で血糖マネジメントを行っていく方針
- ・シックデイカードは最新の薬剤に更新
- ・血糖値は横ばいだが、引き続き低血糖に注意



結果・まとめ

介入①② 結果

	介入時	X+2年7月
糖尿病治療薬	エクメットLD グリメピリド1mg	エクメットHD グリメピリド1mg ピオグリタゾン30mg
HbA1c	9.3%	9.6%
シックデイカード	導入未	導入しスタッフへ 情報共有実施済
糖尿病に対する 治療意欲	なし	動悸改善傾向のため 治療意欲は上昇傾向

介入①② まとめ

- ・ うつ病と糖尿病の合併、食生活の乱れにより糖尿病マネジメント不良
- ・ 糖尿病治療薬は用量増量にて経過観察中、低血糖・シックデイに注意

- ◎ うつ病と糖尿病を合併していると、糖尿病治療に対する意欲が乏しく血糖マネジメントが難航することがある
- ◎ **在宅医療**において、外来患者への指導と比較し**患者本人だけでなく介入するスタッフにもシックデイについて理解してもらいやすい環境**である
- ◎ シックデイカードは患者の問題点の改善だけでなく、**多職種連携を強化**する上でも有用であり大きなメリットになると考えられる

